

# 豫 告

最新理論實行の鍵 ◇十六年一月號より掲載

## 合理的なコンクリートの見積方法を一々ダイヤグラムにより解説す、筆者は斯道知名の大家

總ての工事で従來の見積方法は數量を調べて單價を掛けると云ふ以外に何等の工夫がなかつた、今後の見積は最も合理的な基本經濟に立脚しなければならない、それが爲めには設計の強度に恰度適應する丈の材料を選ぶ事が最も必要である。

所謂其工事に對し設計上の適材適所主義で施工するのである。過不足なき經濟工事、即ち全然無駄をしない施工法を實行しなければならぬ。

従來は所謂高級技術者ですらコンクリート工事に對しては材料過不足の無駄仕事を止を得ない事と觀過してをつたのである。

※

コンクリートの強度一定の爲め  
スラムプレスを實行せよ

※  
然るに世界第一流の學者技術者が最新のコンクリート工事に関する實驗的理論から Fineness Modulus と Consistency の試験を強調するも、結局は此の合理的見積施工法の利益を與へんが爲である。

斯の如き高級の理論は従來大學の教授か、特種の専門研究家のみが知るだけであつたが、藤井氏が自ら之を神宮外苑工事に實施して効果を確め、廣く一般に普及せんとして今回本誌の爲めに特輯されたものである。

新人として現場工事に成功せんとするに缺く可らざるコンクリートの最新理論實行の鍵である。

◇工事畫報社工事研究會が特製しましたスラムプレス用具は最も簡便なる現場工事用備品として今や全國及び殖民地の各工事ヶ所に向ひ矢の如くに發送されつゝあります。